

ふれあいミーティングを 6団体と実施

～町長とまちの課題について意見交換～

「町民の参加と協働のまちづくり」を進めるため、町民と町長が直接対話し、まちづくりの課題などを共有することを目的に「町政懇談会」を毎年開いています。

10月から12月にかけて、町内会や事業所、町内各種団体等の希望に応じて、町長が皆さんの活動の場へ出向いて懇談する形で開催し、6団体、63人にご参加いただきました。

ここでは、参加者から寄せられたご意見やご要望を抜粋、要約してご紹介します。各意見に対する回答については、現在までの情勢の変化などを反映させた内容に手直ししていますので、ご了承ください。

ごみの分別・処理

Q ごみの分別方法が高齢者にはわかりづらい。

分別不十分で回収されなかったごみは町内会で対応しているが、件数が増えている。

A 様々な種類のごみがあり、皆さん分別に苦慮していると思います。回収されないごみが多発する場合は

防災無線等で啓発を行っていますので、ご相談ください。分別方法に疑問があれば、環境生活係（210171）へご連絡ください。

Q 生ごみ処理機のメリットや、ごみを減らす利点は。

A 家庭では生ごみの臭いや量を大幅に軽減することができま。処理機の購入費の半額（上限5万円）を補助する事業を次年度も検討しています。ぜひご活用ください。

町は燃えるごみの処理だけで年間1億数千万円の費用がかかっています。燃えるごみのうち3割は水分と言われており、家庭で水分をしばって出すことにより、ごみの重量が減り、処理にかかる費用を

節約することができます。

ヨーネ病対策

Q ヨーネ病対策について農家と町の意識に違いがあるのではないか。農家にとっては非常に深刻な問題である。

A ヨーネ病は農業経営を大きく脅かしていると町も危惧しています。JAひろおと今後密に連携しながら、広尾町の農業を守っていきます。



ヨーネ病対策は喫緊の課題

地域公共交通

Q 運休となっているサンタ号は再開できるのか。札幌への貴重な交通手段で不

便に感じている。

A 昨年度同様、11月にJR北海道バスへ再開要望を行いました。運転手不足は深刻な問題で札幌圏でも大幅減便が行われています。日高管内から札幌へ向かうバスとの接続など、再開要望のほかにも手段を検討します。

Q コミュニティバス（コミバス）やデマンドバスは普通のバスとは何が違うのか。

A コミバスは一定の時間と経路を回るバスで安価に利用できます。デマンドバス・乗合タクシー利用者の予約に応じて経路やスケジュールを組み運行するもので、自宅まで送迎ができます。いずれも町内のみでの運行となるもので、今後公共交通の手段として検討していきます。

Q コミバスを実施することとなった場合、市街地だけ通るのか。

A 地区ごとに分けて運行する必要がありますと考えられています。農村地域であれば十勝バスの停留所とつなぐ形などが考えられます。コミバス、デマンドバス・乗合タフ

シーを検討する際は、地域住民のニーズを十分考慮していきます。

空き家問題

Q 昔から持ち主不明の空き家がある。取り壊してほしいが町でどうにかできないか。

A 持ち主が死亡や不明の空き家・空地は、相続人等を特定して連絡をとり、問題があれば改善等をお願いしています。また、空き家を手放したい方は取り壊しの補助制度や空き家バンクの活用ができる場合があります。まずは企画防災係（2-0184）へご相談ください。



ふれあいミーティングの様子【たんぼぼの会】

新公園整備

Q なぜ、今回の見直しで防災機能を削除したのか。

A 今年度、アンケートや意見交換会を実施し、庁内検討委員会等での議論を経て、見直し案を取りまとめたところです。町の財政面を考慮し、物価高騰等により増大する事業費の抑制を図る必要があります。防災倉庫の整備は令和10年度以降で再考し、二丁の高い屋内の遊び場に特化した施設をまず整備することとしました。しかし、防災資機材を一括して保管できる防災倉庫の必要性、優先性は十分認識しており、早期整備に向けて財源等も踏まえて引き続き検討していきたいと考えています。

太陽光発電施設

Q 太陽光発電施設の建設について、規制や補助金はあるのか。町の景観や環境に影響はないのか。

A 町からの補助制度はなく、規制等の整備もしていませんが、町の自然環境や景観を損なうことのないよう

うに引き続き注視していきたいと考えています。

地域おこし協力隊

Q 地域おこし協力隊との交流ができる場を作ってほしい。どんな仕事や活動をしているか知りたい。

A 地域おこし協力隊の活動報告会での発表や交流などを今年度も予定しています。また、広報やSNSでの情報発信も行っています。様々な活動を行っており、地元の方や業者との連携も一層深まるよう支援します。



地域イベントにも協力します！

地域おこし協力隊員の活動は広報の「隊員日記」や地域おこし協力隊インスタグラムなどでも発信しています。今後の活動への応援をお願いします。



<開催結果>

開催日	実施団体	参加人数
10/11(金)	広尾町森林組合 理事会	7人
11/6(水)	野塚老人クラブ明老会	12人
11/12(火)	並木高砂会	10人
12/10(火)	紋別老人クラブ	15人
12/20(金)	ボランティアグループたんぼぼの会	10人
12/26(木)	JA ひろお 役員会	9人
実施団体 6団体 ・ 参加者数 63人		

お問い合わせ
企画課 企画防災係 (Tel 2-0184)

医師不足

Q 国保病院について、医師不在による休診が続いているが、しっかりと診療できているのか。

A 医師不足による診療科の休診は課題のひとつです。町民の命を守る医療機関としての役割を今後も担っていくため、体制強化を進めていきます。

歩道の雑草

Q 歩道の植樹帯が雑草で生い茂っていて見栄えが悪い。改善してほしい。

A 現在、使用していない樹は道路を所管する機関が順次埋めています。野塚の国道の一部と、市街地の道の一部も埋めました。今後関係機関と連携を図りながら計画的に進めていきます。